

北の起業家表彰 歴代受賞企業一覧（平成11年～30年度）

	大賞	優秀賞	奨励賞	特別賞
平成11年度	■株式会社アミノアップ化学	■株式会社アジェンダ ■株式会社大仁 ■株式会社タスコシステム	■株式会社アルファ美輝 ■クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 ■株式会社コティ (現:アートチャイルドケア株式会社)北海道統括 ■株式会社ソフトフロント ■株式会社データクラフト ■株式会社バナナクラブ ■北都システム株式会社	■北海道国際航空株式会社 (現:株式会社AIRDO)
平成12年度		■株式会社オープンループ ■株式会社シーエスアイ ■株式会社シーズ・ラボ	■アートシステム株式会社 ■株式会社ティービーバック ■北海道ハウジングオペレーション株式会社 (現:ハウジングオペレーション株式会社)	
平成13年度		■株式会社アイバス ■株式会社アンクリエイティブ ■株式会社システム・ウェイ ■普門エンタープライズ株式会社	■株式会社スターマインズ・インターナショナル ■株式会社スノー・ボール	■株式会社太陽グループ
平成14年度		■株式会社アルファ・トレンド (現:株式会社日本産業ホールディングス) ■株式会社エルコム ■株式会社札幌カンリサイクル (現:株式会社イーアンドエム) ■北海道物流開発株式会社	■株式会社アイビーウェア ■アグロ技術株式会社 ■ジェイ建築システム株式会社	■株式会社ジェネティックラボ
平成15年度	■株式会社ネイクス	■エム・ワイ・エス株式会社 ■株式会社クロスポイント ■株式会社プロメディアワークス ■有限会社ろまん亭	■株式会社アスト・ジャパン ■株式会社アットマークテクノ ■株式会社アモウ ■株式会社北デザイン建築工房 ■フィックス株式会社 (現:FIX株式会社)	
平成16年度		■株式会社ソフトコム	■株式会社アスリートクラブ ■株式会社オーヴ (現:株式会社食農) ■セルプロダクト株式会社 ■株式会社ペットハウス テン・テン	■株式会社クリエイティブオフィスキュー
平成17年度		■株式会社テスク ■マスタプランニング株式会社 ■株式会社メディカルシステムネットワーク	■飯田ウッドワークシステム ■株式会社マイティ ■株式会社メディア・マジック ■株式会社メディカルイメージラボ ■有限会社ロジックジャム	
平成18年度		■株式会社北デザイン建築工房 ■株式会社ティービーバック	■株式会社アドヴァンストテクノロジー ■株式会社キャリア・フォース ■有限会社澤工房	
平成19年度		■株式会社オストジャパングループ ■専門職組合株式会社	■株式会社テクノウイング ■株式会社白圭	
平成20年度		■クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	■株式会社Mr.ルーフマン ■株式会社マスカル	
平成26年度		■株式会社伸和ホールディングス ■株式会社ブランディア	■株式会社LIFE CREATE ■株式会社イークラフトマン ■エコモット株式会社 ■株式会社感動いちば	■北海道衛星株式会社
平成28年度		■株式会社Gear8 ■株式会社VERSION2	■株式会社エヌビー健康研究所 ■日本グランデ株式会社 ■株式会社Mammy Pro	■有限会社エアードライブ ■株式会社秋吉
平成30年度	■エコモット株式会社	■アーキ・システム・ソリューションズ株式会社 ■株式会社レブニーズ	■株式会社 調和技研 ■株式会社 トラストフォース ■株式会社 ファーストコネク ■株式会社 MASSIVE SAPPORO ■株式会社 MIERUNE ■株式会社 Wakka Japan	



NORTHERN
ENTREPRENEUR PRIZE

北の
起業者の
表彰表

令和
3年度

◎北の企業家表彰についてはこちらから
https://www.sapporo-cci.or.jp/web/etc/north_awards.html



令和3年度

北の起業家表彰 について



札幌商工会議所
会頭 岩田 圭剛

札幌商工会議所では、北の大地を育む新たな産業の創出、将来の産業界を担う起業家の育成を目的とした様々な事業を展開しております。

「北の起業家表彰」は、その一環として、北海道経済界の担い手となり得る将来性が高い企業を発掘し、社会的評価の向上を支援するため、創業期にある起業家を「北の起業家」として表彰しております。本制度は平成11年度から実施しており、前回の平成30年度の表彰まで、92社を表彰してきました。

今年度は3年振りの14回目を迎え、学識経験者などで構成される選考委員会および、本制度を所管する会員委員会の選考・承認を経て、12社の受賞を決定いたしました。特に今年度は、受賞企業が多く、いずれもチャレンジ精神溢れる将来性豊かな企業です。皆様の応援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年度 受賞企業一覧



優秀賞

コーアンドコー

株式会社 CO&CO

株式会社 スマートリンク北海道

株式会社 ランドスキップ



奨励賞

アイデコム

株式会社 iDECOM

アンテブリス

株式会社 ANTHEBLISS

OMリサーチ&コンサルティング株式会社

株式会社 ブレークアウト

株式会社 Hokkaido Products

ほっと保証株式会社

ヨイチヤ

株式会社 世壱屋

株式会社 ライトン



特別賞

イッスンボウ

株式会社 一寸房

代表取締役CEO なかの そうじろう 中野 創次郎

P 3

代表取締役社長 いぬまる すみお 犬丸 澄夫

P 4

代表取締役 しもむら かずき 下村 一樹

P 5

代表取締役 こんどう よしのり 近藤 賀慎

P 6

代表取締役 なら おかはやと 奈良岡 逸人

P 6

代表取締役 おおうち ひろのり 大内 裕敬

P 7

代表取締役 ふじ た りゅうの すけ 藤田 龍之介

P 7

代表取締役 か げ い おり 鹿毛 伊織

P 8

代表取締役社長 ひがしむら けんじ 東村 健司

P 8

代表取締役 いぬしま ゆうじ 犬嶋 裕司

P 9

代表取締役 たけうち やすし 竹内 康

P 9

代表取締役 かみやま てつまさ 上山 哲正

P 10

NORTHERN
ENTREPRENEUR PRIZE

2021



北の起業家表彰
優秀賞

● 共育共創型コミュニティラウンジ運営

コーアンドコー

株式会社 CO&CO



なかの そうじろう
代表取締役CEO 中野 創次郎

■ 企業概要

所在地 札幌市中央区北2条西3丁目1-29
タケサトビル2F
電話番号 011-522-5320
設立年月 2012年1月
資本金 8,920万円
従業員数 16名



▶ <https://coandco.jp/>

■ 代表者紹介

● 昭和56年生まれ
● 東京都出身
タイ、マレーシアでの起業の後、札幌にて(株)北海道グローバルリンクス(現(株)CO&CO)を創業。

■ 会社沿革

平成24年 (株)北海道グローバルリンクス設立
平成28年 共育共創型コミュニティラウンジ
CO&CO SAPPORO開設
平成29年 京都支店(CO&CO KYOTO)開設
平成30年 (株)CO&COに商号変更
平成31年 海外展開の戦略拠点として、シンガポールに
現地法人「CO&CO SG Pte. Ltd.」を設立
令和3年 食を通じた新たな世界へのチャレンジを
支援するプラットフォームとして「K.D.C
フードラボ」事業を開始
台湾現地法人「可創意股份有限公司」
(CO&CO TAIWAN)を設立
福岡支店(CO&CO FUKUOKA)開設
令和4年 名古屋支店(CO&CO NAGOYA)開設



街角にある世界の扉

世界中の国から人々が集い、本と人を通じて、国籍も年齢も問わず、フラットでいられる場を提供。仕事の場としても、勉強の場としても、フレキシブルに利用できる「共育共創空間」を提案している。

共育・共創・共生で世界をひとつに

— Communities without Borders, Ideas without Limits —
境界線なきコミュニティにこそ無限の価値が宿ると信じ、個性が進むきっかけと個性が繋がるきっかけを提供する共育共創型コミュニティラウンジを展開。

個性が進むきっかけとして展開する教育事業は、特に外国人向けの日本語学校、日本人向けの外国語学校の運営を中心に。従来の日本語学校と異なり、教室の他にカフェラウンジやコワーキングスペース等を設け生徒同士の交流を可能とし、語学以外にも多くの「コミュニケーションの場」を提供することに注力している。こうした他社とは一線を画した運営により、2015年にはアメリカの教育機関サイト「Go Abroad」で世界一の語学学校に選出された。以来、6年連続で海外の語学教育機関表彰機関より優秀な語学学校として表彰されている。また、現代語を高品質で教える組織の認定を行う協会「EAQUALS」から、2017年に日本で初めて認定された。

2021年3月には食を通じた新たな世界へのチャレンジを支援する「K.D.Cフードラボ」事業を開始。建物内で企画立案、試作調理、ポップアップ店舗の出店だけでなく、様々な法人・団体からサポートを受けることも可能としている。教育事業とコワーキングスペースの複合モデルが世界中から高い評価を受けており、また、今後、国外への往来が再開すれば国際教育の需要拡大が期待できることから、国内外での事業拡大が見込まれる。



ホテルのラウンジのような設え

落ち着いた設えと洗練されたデザインで、居心地の良い空気感を演出。日常のワーキングシーンから利用者間の自然なコミュニケーションを醸成。1つの大きな空間の中でリラックス出来るエリアと仕事に集中出来るエリアを共存させ、海外にいても安心して業務に取り組める。



イノベーションの誘発

コワーキングとカラーニング、それぞれから生まれる多様なコミュニティが混じり還流を繰り返すことで、様々なイノベーションを誘発するプラットフォームを提供。



北の起業家表彰
優秀賞

● IT農業ソリューションで農業の未来を創出

株式会社 スマートリンク北海道

いぬまる すみお
代表取締役社長 犬丸 澄夫



■ 企業概要

所在地 岩見沢市有明町南1番地12
ITビジネスセンター 2F
電話番号 0126-33-4141
設立年月 2013年11月
資本金 1,000万円
従業員数 6名



▶ <https://smartlink-h.co.jp>

■ 代表者紹介

● 昭和17年生まれ
● 札幌市出身
● 昭和40年 北海道大学 水産学部 卒業
● 平成23年 ダットジャパン株式会社 代表取締役就任
● 平成25年 株式会社スマートリンク北海道 設立。

■ 会社沿革

平成25年 ・11月 会社設立
平成26年 ・オートステアリングシステム走行経路作成ソフト(GPSLine)販売開始
・総務省「高精度測位やビッグデータを活用したネットワークロボットに関する地域利活用モデル実証事業」受託
平成27年 ・合成開口レーダーデータによる農作物情報抽出手法開発開始
・農産物販売開始
・農業気象サービス開始
・合成開口レーダーデータによる農作物情報抽出手法開発開始
・大手企業向け農業ビジネス参入コンサルタント開始
・農林水産省「農林水産業におけるロボット技術導入実証事業」受託
平成28年 ・生研機構「革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)受託
・ICT活用型在宅就業支援業務開始
令和元年 ・農研機構「スマート農業加速化実証プロジェクト「スマート農業技術導入による地域水田農業の活性化プロジェクト(岩見沢市)」受託
・バナナ病虫害検出手法開発開始
令和2年 ・農研機構「スマート農業加速化実証プロジェクト「スマート農業技術導入に伴う農家収益向上プロジェクト(当別町)」受託
・農研機構「スマート農業加速化実証プロジェクト「ローカル5Gを活用したスマート農業モデルの実証(岩見沢市)」受託
・自立型ドローンによる農業散布業務開始
・ドローン、人工衛星画像活用可変散布マップ作成業務開始

■ 主な受賞歴

平成29年 地域未来牽引企業選定

魅力溢れる楽しい農業をやってもやろうじゃないの!

各農家の豊富な経験・知見といったノウハウをシステム化することで生産性を高め、高い費用対効果を生むIT農業ソリューションの提供・導入を目的に設立。「営農方法の革新」、「匠の技を次の世代へ」、「魅力ある農業の発信」をコンセプトに、スマート農業の推進のため、オートステアリングシステム、ロボットトラクターといった自動機械への各種開発実証事業を主体としている。その他、画像解析、土壌診断等、農業環境情報の抽出に関する研究開発、気象システム・GNSS基地局の保守業務、地域課題解決促進業務等、システム開発からコンサルティング事業も展開。

本사를構える岩見沢市をはじめとする国内外の農家に協力を仰ぎ、北海道大学農学部教授の野口伸氏、北海道大学理学部教授高橋幸宏教授と共同研究を続けている。グループ会社のダットジャパン(株)が夢想科学(株)(本社:大分県大分市)と協業で構造物の3D映像の再現精度を高めるクラウドシステムの開発にも注力しており、当社の事業にも今後改良を加え用いる方向である。

代表の犬丸氏はIT企業であるダットジャパン(株)の代表も兼務しており、「既存農業技術とIT技術の融合による化学反応」によって、新たな価値創出を目指している。コロナ禍においてスマート農業への注目は高まっており、農業散布や気象観測サービスの提供等の事業展開が期待される。また、ノウハウのシステム化により農家の技術が次世代に伝承できることから、農業の持続化に貢献していると言える。



GNSS基地局保守風景



お天気システム保守風景



リモートセンシング技術開発における現地計測



リモートセンシングサービス現地調査



インドネシア農業省訪問



ロボットトラクタ実証風景



● 風景配信、デジタル窓、デジタル空間演出

株式会社 ランドスキップ

しもむら かずき
代表取締役 **下村 一樹**



企業概要

所在地 札幌市中央区南25条西5丁目26-4
CONTACT
電話番号 03-6421-2547
設立年月 2015年6月
資本金 500万円
従業員数 10人

▶ <https://landskip.co.jp/>



代表者紹介

- 昭和62年生まれ
- 北海道出身
- 北海道大学 経済学部 卒業
- 2010年4月に米国アップル日本法人のApple Japan (株)に新卒入社。その後、ブランド戦略コンサルファームの(株)リスキーブランドに入社し、ブランディング等に就任して執行役員を務める。2015年6月に当社を設立とともに代表取締役社長に就任。

会社沿革

- 平成27年 6月1日(景観の日)に会社設立
4K風景配信サービス、バーチャルウィンドウを提供開始
- 平成30年 北海道150年プロジェクションマッピングを総合演出
8K風景配信サービス、デジタル窓「Window Air」を提供開始
- 令和2年 北海道千歳市と観光発信において事業連携
デジタル天窓「Window Sky」を提供開始
- 令和3年 さっぽろ地下街50周年記念 大型LEDビジョンを導入演出

主な受賞歴

- 平成28年 ・X-Tech Innovation 2016 最優秀賞
・Microsoft Innovation Award 2016 ファイナリスト
- 平成29年 ・第20回文化庁メディア芸術祭 特別賞
・未来2017 ファイナリスト
- 平成30年 ・EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2018受賞
- 令和2年 ・J-Startup HOKKAIDO 認定スタートアップ

風景を連れてくる、風景をつくりだす

背景をありのままの美しさで4K~12Kまでの映像として撮影し、「バーチャルウィンドウ」等のデジタル窓を動画配信するサービスを手掛ける。これにより、窓のない場所にリアルな風景を連れてくることや、デジタルな空間演出により見たことのない景色を創りだすことが可能。

最大8Kの360°動画×立体音響によるVR映像を提供するVRサービスや、観光地の風景を撮影し、快適な空間を求める法人や風景に癒されたい個人に、限りなくリアルな「風景」をWEBとIoTデザインを通じて室内空間に配信している。2016年には、北海道銀行主催のビジネスコンテスト(X-Tech Innovation 2016)の最優秀賞を受賞。2018年の北海道150年記念「赤レンガ庁舎プロジェクト」の総合演出を実施している。全国からの顧客も増加傾向にあり、今後の成長が見込まれる将来性ある企業である。

「風景の流通」をコンセプトとし、観光地・文化財から風のざわめき・緑の木もれ日まで、あらゆる場所や風景を商品・サービスとし、空間にコンテンツを取り入れたという点で新規性が非常に高い。配信映像は高いクオリティで提供されており、8K/5G時代に向けた高速・大容量通信の需要、メタバース市場への事業展開にも期待できる。また、個人向けサービスの他、空間演出やプロジェクションマッピング等、大手企業や公官庁との取引も増えており、今後の展開に市場からの期待も高い。

さっぽろ地下街デジタル空間演出



さっぽろ地下街50周年記念に設置された、横14.4m高さ2.7mの道内最大級LEDビジョンによるデジタル演出。フルCGで再現された別世界の大通公園の景色が広がる。

デジタル天窓「Window Sky」

人工透析室等の病院向けにつくられたデジタル天窓。最大16枚を連携できる天窓は、季節や日照に合わせて夕暮れや星空に切り替わる。天井を空に変えるコンセプトに開発された。



北の起業家表彰 奨励賞

● 微生物発酵混合飼料の製造・販売、土地改良資材の製造販売

株式会社 iDECOM

アイデコム
こんどう よしのり
代表取締役 **近藤 賀慎**



家畜の腸内環境の改善を目的とした微生物発酵飼料を製造

農地等の土壌改良を進めるうえで、家畜の糞尿に着目。もともと農地には牛・豚等の糞尿が使用されるケースが多から、微生物により発酵された飼料を開発。畜産農家をターゲットにした自社開発の「微生物発酵混合飼料」は利用者からの評判も良く、順調にリピーターを獲得してきており、今後の事業展開に期待が持てる。代表の近藤氏の前職からの繋がりで、北海道大学 大学院地球環境科学研究所とは、微生物に関して土壌の検査を行うことで協力関係にある。また、(株)明光とも、土壌の改良などを事業内容としていることもあり、微生物による土壌改良について協力関係にある。

微生物発酵混合飼料は、化学肥料の代わりとなる有機資源ということで資源を有効利用できることともに、悪臭・水質汚染等、人体への被害や環境への影響を低減する技術として評価できる。また、設立当初からサンプルを提供することで顧客の獲得に努めきたが、サンプル提供先からの受注が徐々に増加しており、2021年3月以降は大幅な増加傾向となっている。



プロバイオティクスとバイオジェニクスを活用した飼料「バイタルバイオ」

腸から働きかけ、食欲増進させる。また、肉質や生産性向上の後押しをする微生物を単離し、純粋培養した複数種の微生物を共存可能レベルでブレンドしたものを、食物繊維豊富な自然原料で独自の発酵技術で発酵

企業概要

所在地 札幌市北区北21条西12丁目2
北大ビジネス・スプリング109 研究室
電話番号 011-769-0401
設立年月 2018年7月
資本金 100万円
従業員数 3人

▶ <http://www.i-decom.com>



代表者紹介

- 昭和47年生まれ
- 北海道出身
- 高校を卒業後、アミューズ関連の会社に入社。2001年頃に建築関係の会社に入社し、環境事業部で仕事に従事。2018年7月に独立して(株)iDECOMを設立、代表取締役に就任。



北の起業家表彰 奨励賞

● ウイルス検査技術の確立及びウイルス検査キットの改良・開発

株式会社 ANTHEBLISS

アンテブリス
ならおかはやと
代表取締役 **奈良岡 逸人**



潜伏期間でも判定できる！高感度PCR検査キットの製造・販売

不動産賃貸業及び医療・介護施設を対象とした建設工事を手掛ける。2020年12月より、PCR検査キットの販売を開始し、関連会社である(株)エイチバイオと連携して「ウイルス検出検査」を主とする衛生検査を開始した。また、鹿児島大学と協力してウイルス検出法・検査キット開発を行い、従来の新型コロナウイルス検査キットに加え新型コロナウイルスとインフルエンザウイルス同時検出検査を実施している(北海道内では、民間での同時検査は他をほぼ見ない)。検査キットの販売先は、主に民間企業、医療施設、介護施設等である。2022年2月には、札幌市中央区ススキノ交差点にPCR検査センターを開設し、新型コロナウイルスの検査や、海外渡航用PCR検査を対応し、各諸外国対応の陰性証明書を発行する。

建築関係では、病院や老人ホーム等のヘルスケア関連施設の不動産物件の建築工事、改修工事を請け負っている。不動産賃貸業については、高齢者向け不動産を所有し、賃貸業を展開している。



PCR検査



サービス付き高齢者向け住宅「らくら拓北式番館」

企業概要

所在地 札幌市北区北24条西3丁目2-17 遠藤ビル
電話番号 011-374-1850
設立年月 2015年8月
資本金 100万円
従業員数 8人

▶ <https://hbio.co.jp/>



代表者紹介

- 昭和47年生まれ
- 北海道出身
- 青山工学・医療専門学校卒業
- 青山工学・医療専門学校卒業を卒業後、ゼネコン会社に就職。公共事業、病院・介護施設等の建設に携わり、2007年に不動産賃貸業を個人創業。2015年に(株)ANTHEBLISS設立に伴い代表取締役社長に就任。2020年に(株)エイチバイオ設立し、今日に至る。



北の起業家表彰
奨励賞

● 食品衛生コンサルティング、食品衛生に関する検査

OMリサーチ&コンサルティング
株式会社

おおうち ひろのり
代表取締役 大内 裕敬



飲食店等のDX推進、教育、衛生コンサルを3本柱として



スマホdeチェックQ

次世代を見据えた「オンリーワン」の食品衛生管理アプリ。様々な衛生管理記録をクラウド保存し、散在する事業施設を一括管理することが可能となる。遅れているホテル・飲食店等でのデジタル化を推進し、食品衛生管理の課題を解決し、徹底した予防対策を実現する。



食品衛生トータルソリューション

宿泊施設や飲食店等、高い食品衛生管理が求められる施設様の安全をトータルサポート。専門のHACCPコンサルティンおよび従業員教育等により現場の衛生管理レベルを持続的に向上させ、衛生管理業務に必要なサービスを徹底的に完備することで、幅広い業種業界に対応。

飲食店に対して食品衛生・感染症に関するコンサルティンク等を中心に展開。また、食品製造工業や飲食店、ホテル・スーパー等の食品を扱うエリア及び製品、従業員の衛生検査(ノロウイルス検査、O-157検査、環境微生物検査等)を行っており、登録衛生検査所のライセンスを持っている。2021年6月よりHACCP制度化(義務化)がスタートするにあたり、同年3月からHACCPの考え方を取り入れた衛生管理が出来るスマートフォン・タブレット向けアプリ「スマホdeチェックQ」を自社開発し、販売を開始。2021年5月には食品衛生管理の為に必要な検査項目の利用を容易にする情報処理装置として3件の特許を取得。現在6件の特許を出願中。今後は事業の柱として位置付け、将来的な収益源となるよう取り組んでいる。

今後の展開としては「AIを使用した衛生チェックシステム」を導入予定。

事業は現在、食品製造施設のDX推進、従業員教育、トータルコンサルティンクの3本の柱とし、これからも時代、社会の変化、ニーズに素早く対応出来ることを会社方針としている。

企業概要

所在地 札幌市中央区北3条東2丁目2-22
ひがしビル
電話番号 011-252-1717
設立年月 2012年4月
資本金 300万円
従業員数 3人
▶ <https://www.omrc.co.jp/>



代表者紹介

● 昭和31年生まれ ● 北海道出身 ● 北海道大学医学部付属臨床検査技師学校卒業 1079年4月、(株)大給臨床検査所に入社。2000年に同社のM&Aにより(株)エスアルエル北海道に転籍。2002年に同社営業部次長、2004年に同社営業部次長兼食品営業課長に就任。2006年に同社の合併により(株)エスアルエルに転籍し、食品衛生検査部係長に就任。2012年4月にOMリサーチ&コンサルティング(株)を設立、代表取締役就任。臨床検査技師。札幌市自主衛生管理認定制度衛生管理ネットワーク協議会代表、北海道HACCP自主衛生管理認定制度登録審査員、北海道HACCP認定アドバイザーなども務める。



北の起業家表彰
奨励賞

● 民泊事業、不動産事業

株式会社 ブレークアウト

ふじ た りゅう の すけ
代表取締役 藤田 龍之介



業界に違いを生み出し、その先の「あるべき姿」を創る



収益性の高いハイグレード民泊をプロデュース・管理

北海道全域でのエリアでも企画・管理可能。物件の写真はInstagramでも公開。



民泊事業用不動産情報サイト「民泊不動産.com」

民泊事業用物件の購入・売却の不動産仲介から、一般居住用物件の仲介まで不動産売買全般を行う。

札幌市、小樽市、旭川市、釧路市、洞爺湖町など、北海道各地で民泊事業を展開しており、運営実績は120件以上に及ぶ。デザイン性を強みに高収益民泊事業を実現しており、民泊投資家からの評価も高い。空き家の資産価値を高めるのみならず、民泊の管理においてそれぞれの地域の就労支援施設と協業することで、障がい者の働く機会を増やし自立を促すことを推進し、新たな業務創出から雇用促進を促している。また、北海道の人口減少が進んでいる地域で、不動産の流通を促すべく、2020年に「民泊不動産.com」を開発。北海道各地の民泊可能である不動産の売買、賃貸情報を掲載し、不動産投資家への情報提供を行うことで、北海道各エリアの経済活性化の一助とすることが目的である。

空き家の資産価値を高めるとともに、民泊運用に関して就労支援施設と連携することで障がい者の雇用機会を創出していることはノーマライゼーションの理念にも通じ、社会的責任(CSR)を果たす企業として社会への貢献度が高いと言える。また、不動産投資の一環で民泊を運用する道内・道外の富裕層が多いことから、「民泊不動産.com」によって道内の経済活性化が期待される。

企業概要

所在地 札幌市中央区南4条西9丁目1006-12
電話番号 0120-264-046
設立年月 2017年10月
資本金 210万円
年商 145,854,898円(2021年9月期)
従業員数 4名
▶ <https://www.breakout-inc.com/>



代表者紹介

● 平成3年生まれ。札幌市南区出身。2014年に小樽商科大学を卒業後、国分グループ本社(株)へ入社。その後、起業を目的としてステップアップを図り(株)リクルートへ転職。住まい領域の営業職を担当。販路拡大による社内半年全国表彰特別賞を受賞後、起業のため退職。2017年10月(株)ブレークアウトを設立し、代表取締役に就任。



北の起業家表彰
奨励賞

● 北海道の地域資源を活用した食品等の開発・製造・販売

株式会社 Hokkaido Products

ほっかいどう プロダクツ
か げ い おり
代表取締役 鹿毛 伊織



北海道産食材の付加価値の創出及び向上に寄与



「北海道産ベビーフード」を展開するブランドとして全国に数万人の顧客基盤を有する。



店舗では道産食材の美味しさや道内各地の特産品を消費者に広く伝えていく。道産木材だけで製造した授乳室も完備。

北海道は食の宝庫にも関わらず乳幼児用食品の専業企業がないことをきっかけに、新たな北海道産食材の付加価値の創出及び向上に寄与すべく起業。北海道産食材のみを使用した食品添加物・アレルゲン・コンタミネーション無しの無添加ベビーフード「Baby Potato(ベビポタ)」を全国及び海外5カ国で展開している。同製品は札幌商工会議所「北のブランド」や「北のハイグレード食品S」「北海道新技術・新製品開発賞」「モンドセレクション金賞」、2019年度には「グッドデザイン賞」「キッズデザイン賞」など複数の賞を受賞している。2021年7月にはお試し容量にリサイズした100円製品を全国3,000店舗以上のダイソーで販売開始するなど、順調に販路を拡大しており、今後も成長が見込まれる企業である。また、2021年11月より北海道神宮敷地内で道産食材を使用した御粥や御茶(北海道産の黒豆茶・そば茶・ごぼう茶等)の提供及び北海道各地の特産品を販売する「神宮の杜はくしか」の営業を開始した。

企業概要

所在地 札幌市中央区南1条西5丁目14番地1
札幌証券取引所ビル6階
電話番号 011-777-8339
設立年月 2018年8月
資本金 1,500万円
従業員数 5人
▶ <https://www.hokkaido-products.jp/>



代表者紹介

● 北海道医療大学看護福祉学部卒業 ● 社会福祉士・精神保健福祉士 大学卒業後、医療福祉従事者にも民間企業の見識が必要になると考え、全業種に顧客を持つ日本通運(株)に入社。Web技術を用いたロジスティクス・サプライチェーンの構築・提案を専門に従事した。2013年4月、福祉業界(福)ゆうゆうに転職し、事務局長・品川区立品川児童学園施設長等を務める。2018年8月(株)Hokkaido Productsを設立し、代表取締役社長に就任。



北の起業家表彰
奨励賞

● 家賃保証業、家賃代行回収業

ほっと保証株式会社

ひがしむら けんじ
代表取締役社長 東村 健司



住みたいを住めるに変える

不動産管理業者及び不動産仲介業者向けに家賃保証サービスを展開。通常審査では入居が難しい個人に対して、同社の家賃保証サービスを提供することで審査が通るケースが多い。これによって、個人の生活安定に繋がるなど、今後、社会的に必要となる事業と言える。具体的には、外国人入居者に対する専用サービス「Hot international Support」や、水商売や風俗店で働いている女性に対する保証サービス「Night Lady Plan」などの新たなサービスである。このように、何らかの理由で住宅確保に配慮が必要な世帯が増えてきている中、当社は「外国人向け」、「夜間お勤めの方向け」に特にフォーカスをあてたプランを展開している。個人の生活安定に繋がることは、貸主と借主が安心して契約できること以上に社会的価値があり、グローバル化する社会にも目を向けていると言える。また、顧客数の増加により業績は好調。内部留保の蓄積が進められていることから無借金経営を維持している。



Hot international Support

外国籍の方々の日本で生活をサポート。英語、中国語、台湾語、韓国語、ネパール語、ベトナム語等、様々な言語で対応可能。



どんな方でもサポート

できる限りどんな方でもサポート。入居者には「借りやすさ」、オーナーには「安心」、不動産会社には「業務の軽減」を提供。

企業概要

所在地 札幌市中央区北1条西10-1-4
電話番号 011-206-8792
設立年月 2011年7月
資本金 3,000万円
従業員数 67名
▶ <https://hothosyou.co.jp/>



代表者紹介

● 昭和52年生まれ ● 愛媛県出身
大手の消費者金融にて経験を積み、ほっと保証(株)(当時:北海道ほっと保証(株))に勤務した後に、2012年5月、代表取締役社長に就任。趣味はマ釣り。



● 飲食店(うに専門店)事業、催事事業、卸事業

株式会社 世壺屋

代表取締役 犬嶋 裕司



品質世界一! 独自製法による“熟成うに”



幸福雲丹 福雲丹(芭吻雲丹)

「生うに熟成製法」により、冷凍保存が可能になり、味・風味・食感を保ちながら希望の指定配達日に商品の発送が可能。福雲丹はパフウニを使用。



余市産うに及び道内産うにの食べ比べが出来る「5うに食べ比べ丼」、「余市産うに食べ比べ丼」

余市で揚がった旬の「うに」をはじめ、道内各地でとれた鮮度抜群の「うに」を、こだわりの酢飯にたっぷり乗せて提供。全国から多くの客が来店。余市の町興しに取り組む。

企業概要

所在地 札幌市中央区南5条西1丁目1-12
ヒカリビル9F
電話番号 011-533-5726
設立年月 2007年9月
資本金 500万円
従業員数 10人



▶ <https://yoichiya.info/>

代表者紹介

● 昭和53年生まれ ● 北海道余市郡出身
2007年1月に独立。百貨店を中心とした催事事業が拡大し2013年に社名を「世壺屋」に変更、うに専門店として飲食事業、催事事業、卸事業を展開。特に百貨店では「半生うに弁当」を主軸に物産展に出展。現在では全国65箇所以上の物産展に出展している。2020年12月に初の第1加工場を建設、2022年5月に第2加工場を建設予定。



● 総合洗濯業(コインランドリー、洗濯代行、クリーニング)

株式会社 ライトン

代表取締役 竹内 康



全てオーダーメイドで洗濯代行する、コインランドリーの概念を超えたコインランドリー店



ジャバリンの洗濯サービス「アラワサッタ」

洗濯物を持っていくと、数時間後には「洗わさっている!」。スタッフが全て代行するので、コインランドリーの知識がなくても安心して利用できる。



布団はクリーニングに出すよりも安価一般的なクリーニング屋に持ち込めば全てクリーニング料金となるが、「アラワサッタ」ならクリーニング師資格を持ったスタッフが顧客の要望に合った洗濯方法を提案。ピンポイントで悩みを解決。

企業概要

所在地 札幌市中央区北6条西19丁目23-8
電話番号 011-688-5870
設立年月 2012年8月
資本金 300万円
従業員数 3人



▶ <https://www.jabbaring.com/>

代表者紹介

● 昭和44年生まれ ● 栃木県出身
埼玉大学大学院修了 埼玉大学大学院理工学研究科にて応用化学を学び修了後、(株)日本バイリンに入社し不織布の研究職に従事。その後、三好化成(株)に転職し、石鹼や界面活性剤を使った研究を行い、2012年5月に北海道へ移住した。同年8月、(株)ライトンを立ち上げ、代表取締役社長へ就任。



● 建築設計事務所としてのワンストップサービス

株式会社 一寸房

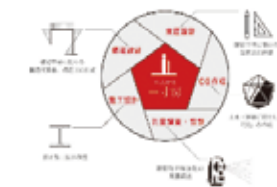
代表取締役 上山 哲正



「個の成長」を目指した経営で、会社の成長も実現

平成17年に設立。鉄骨の施工図製作からスタートし、構造設計、意匠設計、CG作成、測量設計、派遣事業と領域を拡大し、建築設計事務所としてワンストップサービスを確立している。国内外で事業展開し、令和2年に東京証券取引所に上場を果たした。「個(社員もしくは人)の成長」を経営理念としており、大切にしていることのひとつが「失敗すること」。真剣に取り組んだ失敗は次につながると考え、失敗しても支えあい、変化し挑戦し続けられる風土があり、成長の好循環を生み出している。今後の建設業界で不可欠なBIM/CIMによる3次元設計のノウハウを構築すると共に、そのデータを利活用(応用)し、デジタルコンテンツ(VR、AR、MR、CG動画やWEB等)に対応可能な体制を有している。DXやICTにも柔軟に対応するため、最新テクノロジーを専門的に取り扱う「デジタル藩」を立ち上げ多様なニーズに対応する体制を整えている。

今後は世界を視野に入れ、引き続き採用活動に注力し「個の成長の場」を実現していく。



各分野の業務を一度に受け入れスピーディに作業を進行する「ワンストップ」。



札幌市円山動物園のゾウ舎等、さまざまな建築物の設計やデジタルコンテンツ制作等を手掛ける。



札幌商工会議所は、地域を元気にするアイデアあふれる商品開発や、革新的なビジネスモデルに挑戦する企業を応援します。

- 応募対象 企業創設後、概ね10年以内であり、高い志を持ち、自立する中小企業等の経営者又は代表者
- 選考方法 学識者をはじめとする有識者による選考委員会で厳正かつ適正に審査します。
- 審査基準 ①新規性、革新性 ②成長性、将来性 ③経営者の資質(意欲、キャリアの活用度や経営方針・経営手腕) ④社会的な貢献度(社会貢献度、他の模範となる等)

表彰された企業のメリット

- 表彰状の贈呈
- 副賞として賞金の贈呈
- 当所が主催する講演会・セミナー、交流会等での講演
- 当所HP、広報誌「さっぽろ経済」、当所主催事業での紹介・PR、プレスリリース
- Youtube等で発信等、多様なチャンネルで受賞企業をPR

賞の種類	大賞	優秀賞	奨励賞	特別賞
賞金	20万円	15万円	10万円	10万円

お問い合わせ 札幌商工会議所 会員組織部 会員組織課
〒060-8610 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター

TEL: 011-231-1317
FAX: 011-231-2168 E-mail: sosiki@sapporo-cci.or.jp



北の企業家表彰について
詳しくはこちらから